

1. 2014年度報告

1.研究のグローバル化推進(人事)

- 1)コロンビア大学教授2名を訪問研究者として嘱任。(2014/10)
- 2)コロンビア大学研究員1名を訪問主任研究員として嘱任(2014/10)
- 3)UCLA 上級准教授1名を訪問准教授として嘱任(2014/10)

2.学生交流

- 1)UCLA リサーチフェローシップ・プログラム (博士後期課程学生1名派遣)
(2015/1～3)

3.研究関連国際イベントの開催

- 1)総合人文科学研究センター年次フォーラム(2014/10)
- 2)国際シンポジウム (会場: コロンビア大学) 開催 (2015/3)

4.学院の改革

- 1)大学院新コース、学部新プログラム新設に関して、準備委員会を設置(2015/3)

5.制度・仕組の創設

- 1)「戦略的人事」を可能にする仕組創設 (2014/5)
- 2)角田柳作記念国際日本学研究所開設 (2015/1)

6. 連携の模索

- 1)連携校開拓 (Bard College) (2015/3)

7.その他

- 1)柳井正イニシアティブ発足(2014/10)
- 2)専任教員募集時におけるダイバーシティの推進(2015/3)

2. 2015年度計画

① 国際ネットワークの活用関連（共同指導・共同研究関連）

- ・プロジェクト・リーダー（訪問教員）、プロジェクトファシリテーター（訪問研究員）、プロジェクト・メンバー（客員研究員）の雇用
- ・教員派遣（連携校（コロンビア大学）での大学院生指導のため）
- ・UCLA リサーチフェローシップ・プログラム（派遣3名・受入1名）
- ・UCLA テラサキセンターの教員招聘

② 国際的インターフェイスを持つ教育研究システムの構築関連

- ・クォーター制度の導入決定
- ・海外大学との連携協議（パリ大学、オックスフォード大学、ケンブリッジ大学、シカゴ大学、コロラド大学）
- ・連携校開拓（イナルコ、パリ第7大学、オックスフォード大学）
- ・箇所間協定（コロンビア大学ドナルド・キーンセンター）

③ 国際発信、成果発信関連（広報関連）

- ・総合人文科学研究センター年次フォーラム(2014/10)
- ・国際シンポジウム「Waseda Columbia Symposium on New Horizons in Japanese Literary and Cultural Studies 2」(NYC) の開催
- ・国際日本学ホームページ追加コンテンツの制作
- ・シンポジウムを総括した書籍『Japanese Culture in the World』の出版に着手（コロンビア大学出版部、岩波書店から3年以内の刊行を目指す）
- ・国際シンポジウムの開催（会場：コロンビア大学）
- ・UCLA ワークショップ「和本リテラシー」ミニシンポジウム「東京と文学」（岩波書店共催）

④ 運営体制の強化、教育研究環境整備関連

- ・事務所スタッフの雇用（嘱託職員）

⑤ 学部教育・入試制度改革

1. 新コース・プログラムの候補者人選、カリキュラム検討
2. 英語外部試験の導入検討
3. 選択英語科目の見直し検討